



ごあいさつ

熊本県中学校体育研究会

会長 新垣 力

本年度の熊本県中学校体育研究会の各取組は、来年度から全面実施となる新学習指導要領の移行に向けた最後の一年でもあり、県内の保健体育科教師の総力で大きな成果を残し、無事に終了できましたことに感謝いたします。

はじめに、今年の7月豪雨においてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、本年度は、芦北町において研究発表大会を予定しておりましたが、ご存じのとおり、7月豪雨において甚大な被害に見舞われました。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度までのように、多数の会員が集まって行う研究発表大会は断念いたしました。

研究発表大会の全てを中止にすることも考えましたが、これまで芦北水俣郡市中学校体育研究会の先生方が積み重ねてこられた研究の成果を授業の記録動画と誌上にて発表していただき、県内保健体育科教師の学びに活かしていただくことといたしました。

ご承知のように、平成29年告示の学習指導要領が、来年度から完全実施となります。評価の観点も、4観点から3観点になり、授業の展開も変わることが必然となっている中、これからの授業づくりに大きな示唆を与える研究となりました。また、被災されたあとも芦北水俣郡市の先生方が、各学校での実践を持ち寄り、研鑽を重ねられる姿を目の当たりにし、胸が熱くなる思いでした。

熊本県中学校体育研究会は、熊本地震や豪雨災害といった困難に遭遇しても、「できることをできる形」で、諸先輩方をはじめ保健体育教師のたゆまぬ努力により、研究、実践がなされてきました。芦北水俣郡市中学校体育研究会の先生方のご努力に対し、重ねて敬意と感謝の意を表します。

結に、本誌への貴重な寄稿をお引き受けいただきました方々に厚くお礼を申し上げますと共に、本研究会並びに保健体育科教師への多大なるご指導とご支援を頂いております熊本県教育庁教育指導局体育保健課をはじめ、温かいご支援を賜りました関係各位に心から感謝申し上げます。

会員の先生方の益々のご活躍と本研究会の充実・発展を祈念しましてあいさつといたします。